

こいずみまさる

新潟県議会議員

小泉勝

県政レポート

第2号

令和元年11月26日



9/16 天皇皇后両陛下特別奉迎



9/28 国民体育大会開会式



10/20 福島県伊達市災害ボランティア



11/15 見附まつり実行委員会

本年4月30日に、新潟県議会議員として活動をはじめから、早いもので半年が過ぎました。この間1回の臨時会と2回の定例会を経験し、一般質問、委員会質問をいたしました。一般質問につきましては、前号第1号で概要をお伝えさせていただきましたので、今回は委員会質問の要旨を掲載させていただきます。

報道等でご承知の通り、新潟県の人口減少は想定を超え、また、全国平均を大きく上回るスピードで進んでいます。それにより地方交付税が減少し、加えて、県税収入の伸び悩みや社会保障費の増加などにより県財政の状況は緊急事態となっております。知事は自らをはじめ幹部職員給料削減を公表し、痛みを伴う改革に県民への理解と協力をお願いしました。県議会も議員歳費・政務活動費の削減をはじめ、視察の縮小など我々にできることを少しでもしながら

ら財政立て直しに協力しています。定例会や委員会でも財政についての質問が立て続けに行われ、その原因や要因がどこにあったのかという質問が与野党問わず多くなされました。知事は『財政悪化を招いた原因や要因の究明、経緯の確認は重要だ』としながらも、『結果として判断を誤ったのは、その判断を行った組織としての県が責任を負う。過去がどうだったのかという議論をやり続けても生産的ではない。』という期待とは違うばやけた答弁でありました。これから令和2年度の予算組みが本格化する中で、削減ありきではなく事業内容とその効果をしっかりと見極めながら、必要などころにはきちんと予算措置をしていくメリハリのある新年度予算となるよう1年生議員として活動してまいります。

お気軽にご来場ください。

県政報告会を開催いたします。

入場無料

11/27(水) 上北谷公民館

11/29(金) 今町公民館

12/2(月) 中央公民館分館/ホール

12/3(火) 緑葉会館

12/12(木) 中央公民館中ホール

※時間はいずれも19~20時



8/11 まごころサマーフェスタ2019



8/20 見附市合同慰霊祭



10/21 見附市展表彰式



11/12 都道府県議会議員研究大会

産業経済常任委員会より

◆質問 観光立県を目指しスノーリゾート新潟を重点的にPRするに当たって、妙高・湯沢地区を重点的にアピールすべきと考えるが所見を伺う。

◎答弁 委員御指摘のとおり、妙高・湯沢地区は県内でも特に屈指の雪質である。そして温泉があるということと、大規模な宿泊施設が集積をしているということが受入体制の面においても、非常に整ったところと認識している。この二つのエリアをシンボリックに取り上げて積極的にアピールをしていく。

◆質問 新潟県内の田んぼダムのこれまでの取組状況とその効果について伺う。

◎答弁 平成30年度時点で、15市町村約1万4600ヘクタールで実施している。平成23年7月新潟・福島豪雨の浸水シミュレーションで、浸水面積が約54パーセント減少する結果となり、一定の減災効果があるものと考えている。

◆質問 田んぼダムに取り組み周辺地域よりは、むしろ下流域がその恩恵を受ける。つまりは、上流

域のかたがたが下流域のことを思うことで事業が成り立っているが、農家のかたからは負担感の声も聴かれる。今後の取組方針について伺う。

◎答弁 取り組む農家のかたがたによく説明し、そして理解を求めることが重要。多面的機能支払の継続、拡大と併せ、田んぼダムの取組の普及啓発を図っていく。

人口減少問題対策特別委員会より

◆質問 小児救急医療の相談窓口の相談件数が、平成29年度から平成30年度は9183件から1万3198件と大きく4015件、1.44倍ほどの伸びとなっている。この1年間で相当数伸びている要因、原因を伺う。

◎答弁 平成27年度は相談時間を午後7時から午後11時までに限っていた。平成28年からは相談時間を午後7時から翌朝の午前8時までと大幅に拡大したことで相談件数が伸びた。医療機関等にもポスターを配布したり、周知も進んだりしていることで、平成28年度、平成29年度、平成30年度と増えている。

◆質問 新潟県少子化対策モデル事業の中の地域の子育て力育成事

業として、子ども食堂の設立費用の補助金があったと思うが、より大切なのはスタート後の運営を継続していくことである。一般的に子ども食堂と呼ばれているが、お年寄りの孤食をなくす、地域の絆を作るといった地域食堂、コミュニティ食堂といった役割も併せ持ち、地域で子育てをするという意味においては非常に重要な取組だと思っている。これを継続的に発展的に運営ができるような運営経費としても補助対象になるのか伺う。

◎答弁 高齢者などを対象にする別の制度があるかもしれないが、飽くまで地域の子育て力育成事業の中では、基本的には子ども食堂の運営費的なものも含めて補助対象になる。

タウンミーティング開催のお願い

我々の住む地域をこのようなまちにしたい、見附市や新潟県に対する想いを小泉勝にお聞かせいただきともなまちづくりをしていきましょう。タウンミーティング(県政報告会、情報交換会)を開催していただける町内、コミュニティ、団体等を募集しています。詳細につきましてはお気軽にお問い合わせください。

新潟県庁・新潟県議会見学のお誘い

県庁・県議会を見学、傍聴してみませんか? 詳細につきましてはお気軽にお問い合わせください。

小泉勝事務所

〒954-0046 新潟県見附市双葉町2-4 TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078
Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp/

政務活動費をホームページで公開しました!

(暫定版)

ホームページもご覧ください。 <https://koizumimasaru.jimdofree.com/>

